2026年3月期 第2四半期



説 明会資料

2025年11月7日

アリアケジャパン株式会社(証券コード2815)

目 次

17 [アジア] 海外グループ会社の状況 03 第2四半期 (4月-9月) 連結・単体業績一覧 (対前年) 18 [欧州] 海外グループ会社の状況 04 第2四半期 (4月-9月) 連結・単体業績一覧 (対計画) 19 [その他] 海外グループ会社の状況 05 第2四半期 (4月-9月) 子会社業績一覧 20 2026年3月期等十両

06-07 [グループ別] 第2四半期 売上高(対前年比較) 08-09 [グループ別] 第2四半期 営業利益(対前年比較)

10 [単体] 第2四半期 決算のポイント

11 [単体] 第2四半期 売上・利益の状況

12 [単体] 第2四半期 カテゴリー別売上高比率及び増減

13 [単体] 第2四半期 利益変動要因(対前年比較)

14 [単体] 2026年3月期通期の見通し

15 [子会社] 第2四半期 決算のポイント

16 [子会社] 2026年3月期通期の見通し

(対前年・対計画) 21-26 過去5年 推移データ

27 アリアケグループ「世界 7 極体制」

〔補足資料〕 決算のポイント

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

第2四半期 決算のポイント

□ 連結

減収、増益(為替中立では増収、増益)子会社の減収と国内微増が影響。 営業利益は対前年+8.1% 純利益は対計画+3.1%。

単体

増収、増益 売上高対前年+0.3% 純利益は対計画+5.3% CVS向け製品の販売不調により売上高は対前年微増も営業利益は対前年+7.0%。

□ 子会社

減収、増益(為替中立では増収、増益)売上高対前年 - 3.0% 営業利益同 + 1.5% 景気低迷のアジア(中国、台湾)を欧州の増収、増益でカバー。欧州の利益改善進む。

□ 2026年3月期計画(変更なし)

連結売上高:671億円 連結営業利益:122億円 連結営業利益率:18.2% アジアの不調を欧州で相殺、単体の下期における売上増により、計画達成を目指す。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

2

第2四半期(4月-9月)連結・単体業績一覧(対前年)

項目	実績	前年	前年増減	前年比
連結売上高	312.8	315.2	-2.4	-0.8%
連結営業利益	51.1	47.2	+3.8	+8.1%
連結経常利益	59.1	34.7	+24.4	+70.3%
連結純利益	41.3	20.9	+20.3	+97.0%
単体売上高	227.9	227.3	+0.6	+0.3%
単体営業利益	35.4	33.1	+2.3	+7.0%
単体経常利益	47.0	22.2	+24.8	+111.9%
単体純利益	32.6	15.6	+17.0	+109.3%

※単位は億円 四捨五入して記載

連結営業利益率16.3% 前年15.0% +1.3p 単体営業利益率15.5% 前年14.6% +0.9p

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

第2四半期(4月-9月)連結・単体業績一覧(対計画)

項目	実績	計画	計画増減	計画比
連結売上高	312.8	322.1	-9.3	-2.9%
連結営業利益	51.1	58.7	-7.6	-12.9%
連結経常利益	59.1	61.9	-2.8	-4.5%
連結純利益	41.3	40.0	+1.3	+3.1%
単体売上高	227.9	231.5	-3.6	-1.5%
単体営業利益	35.4	37.6	-2.2	-5.8%
単体経常利益	47.0	45.0	+2.0	+4.5%
単体純利益	32.6	31.0	+1.6	+5.3%

※単位は億円 四捨五入して記載

連結営業利益率16.3% 計画18.2% -1.9p 単体営業利益率15.5% 計画16.2% -0.7p

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

4

第2四半期(4月-9月)子会社業績一覧(対前年・対計画)

項目	実績	前年	前年増減	前年比(%)
売上高	84.9(88.2)	87.8	-3.0(+0.4)	-3.4(+0.4)
営業利益	15.6(16.4)	14.1 +1.5(+2.		+10.8(+16.2)
項目	実績	計画	計画増減	計画比(%)
売上高	84.9	85.3	-0.5	-0.5
営業利益	15.6	17.7	-2.1	-11.6

子会社営業利益率18.4% 前年16.1% +2.4p 計画20.7% -2.3p

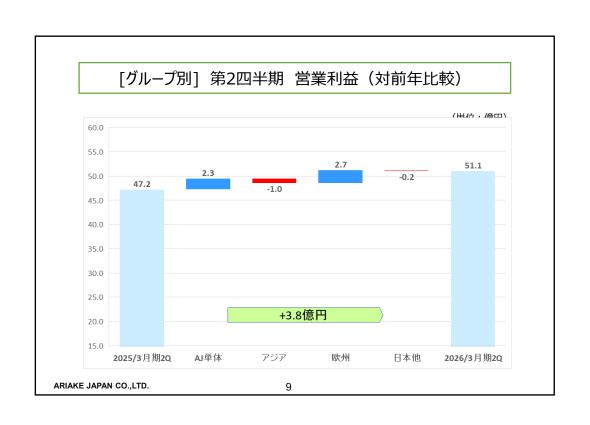
※単位は億円 四捨五入して記載 ()は為替中立

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

[グルー	[グループ別] 第2四半期 売上高(対前年比較)							
※子会社は連絡	詰調整後			(単	位:億円)			
	2026/3期 2Q(A)	2025/3期 2Q (B)	増 減 (A-B)	%	為替中立			
アリアケジャパン	227.9	227.3	0.6	0.3%	-			
子会社 計 ※	84.9	87.8	△ 3.0	△ 3.4%	0.4%			
アジア	45.6	50.0	△ 4.4	△ 8.9%	△ 3.4%			
欧 州	37.7	36.2	1.5	4.1%	5.7%			
日本	1.6	1.6	△ 0.0	△ 1.3%	-			
連結	312.8	315.2	△ 2.4	-0.8%	0.3%			
EUR 人民元 台湾ドル ルピア AKE JAPAN CO.,LTD.	20.19 4.96	172.33 22.04 4.95 0.0099	△ 2.67 △ 1.85 0.01 △ 0.0009					



[グルーフ	[グループ別] 第2四半期 営業利益(対前年比較)								
営業利益	営業利益								
※子会社は連結	調整後			(単	位:億円)_				
	2026/3期	2025/3期	増 減						
	2Q (A)	2Q (B)	(A-B)	%	為替中立				
アリアケジャパン	35.4	33.1	2.3	7.0%	-				
子会社 計 ※	15.6	14.1	1.5	10.8%	16.2%				
アジア	10.7	11.7	△ 1.0	△ 8.6%	△ 3.9%				
欧 州	5.0	2.3	2.7	115.5%	118.8%				
日本	0.1	0.1	△ 0.0	0.0%	-				
連結	連結 51.1 47.2 3.8 8.1% 9.7%								
RIAKE JAPAN CO.,LTD.		8							



[単体] 第2四半期 決算のポイント

□ 売上高·営業利益

増収、増益。

売上高: 227.9億円(対前年+0.3% 対計画-1.5% 通期計画進捗率46.5%)

営業利益:35.4億円(対前年+7.0% 対計画-5.8% 通期計画進捗率42.0%)

営業利益率:15.5%(対前年+0.9p 対計画-0.7p)

メーカー向け製品が好調も、CVS向け製品の販売減、期間製品の減により売上は微増。価

格改定、コストダウン効果により営業利益率は改善した。

□ 経常利益·純利益

経常利益: 47.0億円 (対前年+111.9% 対計画+4.5%) 純利益: 32.6億円 (対前年+109.3% 対計画+5.3%) 対前年は前期のデリバティブ評価損の影響による。対計画でも増。

□ 2026年3月期計画(変更なし)

売上高:490億円 営業利益:84.3億円 営業利益率:17.2%

10

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

[単体] 第2四半期 売上・利益の状況

□売上高

- ・CVS向けが、大手CVSの売上低迷の影響を受け売上減(対前年-6.3%)
- ・ 外食は期間限定製品、限定メニュー等の改廃などの影響で微増に留まる。 (+0.4%)
- 加工食品メーカー向けは節約志向、コメ代替需要など堅調な需要と価格改定効果で売上増 (+4.6%)
- B2C(CVS、量販、その他)は採用増により順調に売上伸長(+6.5%)

□営業利益

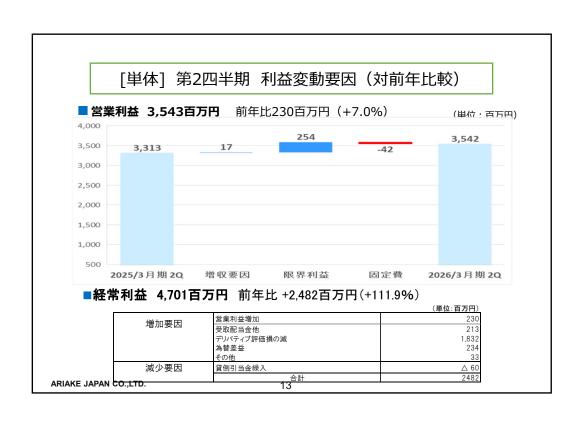
- 工場のVA、工程改善によるコストダウンにより原価押し上げ要因を吸収し、営業の利益改善 (価格改訂、リニューアル) により対前年1.0p利益改善。
- 売上高に応じて生産高を調整したことによる固定費率増、原材料費率が計画より若干上振れしたことにより、計画より-0.5pとなる。
- 工場のコストダウン計画約20億円/年に対し約15億円(約75%)実績。
 営業の利益改善15億円/年に対し約14億円(内価格改定11億円)(約92%)実績。
- 2Q累計の販売単価は対前年+3.5%、数量の伸びは-3.2%。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

「単体」第2四半期 カテゴリー別売上高比率及び増減

カテゴリー	売上高比率	前年比増減
食品メーカー	20.3%	+4.6%
外食	40.4%	+0.4%
CVS・中食・スーパー	26.5%	-6.3%
B2C(B2B2C)	11.0%	+6.5%
輸出(台湾)	1.8%	+10.8%
合計	100%	+0.3%

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.



[単体] 2026年3月期通期の見通し

□売上高

- ・下期の仕掛案件を確実に取り込み計画達成を目指す。
- ・流通向けB2B2C製品の大型採用。下期対前年3億円増。
- ・CVS向けに、既存品ブラッシュアップ、B2C製品提案などにより売上回復見込み。

□利益改善

- 売上増に伴う生産増により利益率改善及び利益額の上積みを図る。
- 工場におけるVA、工程改善によるコストダウン、営業おける利益改善(価格改定、リニューアル)は継続して進行。加えて低利益率品の価格改定を実施。
- 想定以上の円安進行が原価押し上げ懸念要因。一層の原材料費コストダウン、経費削減に 取組む。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

14

[子会社] 第2四半期 決算のポイント

□売上高·営業利益

 減収、増益。為替中立では増収増益。 アジアの消費低迷で減収となるも、ベルギー利益改善進み増益。 売上高:84.9億円(対前年-3.4%対計画-0.5%) 営業利益:15.6億円(対前年+10.8%対計画-11.6%) 営業利益率:18.4%(対前年+2.4p対計画-2.3p)

□各国状況

- ・中国、台湾の消費低迷により、アジアが減収、減益。
- 欧州は、全般に好調を維持し、増収、増益。
- フランスは欧州内の売上が減り、日本向けが増えて減収となるも固定費吸収効果で増益。
- ・ベルギーは利益改善が進み増収、増益もわずかに営業赤字。
- オランダは堅調に増収、増益。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

[子会社] 2026年3月期通期の見通し

□売上高

- アジアの不調を欧州でカバーし年度計画達成を図る。
- ・中国、台湾の消費低迷は年内継続の予想。売上減を新規顧客、新規製品採用でカバーし、 前年超えを目指す。
- 欧州は引き続き好調を維持。フランスの現地売上減を新規顧客でカバーする。
- 日本食(ラーメン、カレー)の引き合いが強く、日系問屋、日系企業をメインに営業強化。

□利益改善

- ベルギーの利益改善をさらに進行。期末にかけて単月黒字を継続する。
- 中国、台湾は、高営業利益率の現状を維持する。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

16

[アジア] 海外グループ会社の状況

□中国

- 前期からの景気後退による食品業界全体の業績低迷の影響を大きく受けた。 コストダウン、経費節減などで高営業利益率は維持。
- ・既存顧客の減を加工食品メーカー、外食、B2C製品の新規採用品でカバーする。
- 今後B2C製品拡販、韓国市場への販売を進める。

□台湾

- 顧客の業績影響を受けた。顧客の業績は、店舗増による伸長組と品質不足、高価格などによる停滞組とに2分された。ラーメン業界は顧客内でのシェア争奪戦となり競争激化、飽和感が出てきた。
- ・減収となるも、コストダウン、経費節減などで高営業利益率は維持。
- ・火鍋、うどん、ファミレスなどラーメン以外の外食、加工食品メーカー向けの営業に注力する。

□インドネシア

- ・ 日本向けが増え、ASEAN輸出が減。インドネシア国内は外食、メーカーとも引き合い多く好調。
- 当社グループ(日本、台湾)、当社グループ外の売上比率は57:43
- 日本外食の海外進出に伴う引き合いが増加(国内、アジア、中東等)
- 日本向けハラル製品輸出を進行中(ラーメンスープ)

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

[欧州] 海外グループ会社の状況

□フランス

- 日本向けの輸出が増加、一部欧州内顧客の受注減により減収となるも、生産増による固定費吸収、ユーティリティーコスト改善などにより営業利益は大幅に改善した。
- 日本向け輸出は安定継続、欧州向けは新規顧客でカバーする(採用確定済)。 インダストリーはオーガニック製品の拡販を行う。(オーガニック認証所有)
- スプレー品の稼働(欧州、日本)が始まり、来期欧州内インダストリー向けで採用内定。
- UHTとセットでインフュージョンブイヨン(だしパック)の販売を推進する。(Ariake専用棚)

ロベルギー

- 日本向け輸出増加、欧州顧客も増加。固定費吸収、ユーティリティーコスト改善などにより 対前年大幅な利益改善を達成。下期は単月黒字化継続。来期は通期で黒字化見込み。
- 日本食、特にラーメンのニーズ多く、今後の成長要因。現地生産の優位性を活かして拡販。 日系問屋との関係強化を図る。(日本食は対前年16%増。過去4年で2倍に成長)
- UHT製品は、パリ中心に拡販中。営業強化し長期戦で対応。OEM生産も検討中。
- インダストリーはフランス同様にオーガニック製品を拡販(オーガニック認証所有)

■オランダ (ヘニングセン)

・ 欧州インダストリー中心に売上好調。引き続き好調維持。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

18

[その他] 海外グループ会社の状況

■米国子会社の進捗

- 2024年7月1日Ariake U.S.A.,Inc.を設立。資本金1000万\$。
 東海岸バージニア州チェサピーク市に53000m²の候補地を選定。
 土地DD、FS終了。不動産DD進行中。
- 2025年度土地購入•設計開始~2026年度着工、2028年度稼働開始予定。

□中国日照有明の抹消

- 2025年7月2日日照有明を抹消。 現段階で青島有明の立ち退き要求は撤回。 新工場建設予定地を山東省内で検討中。
- ・中期3年計画2027年度(2028年3月期)まで、既存青島有明内の設備増強で対応可。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

2026年3月期計画

※子会社は連結調整後

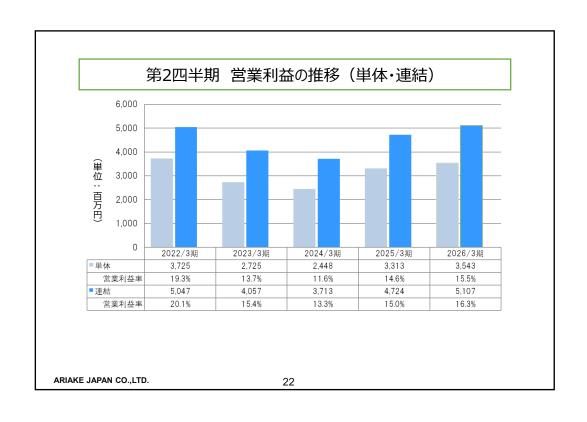
(単位:億円)

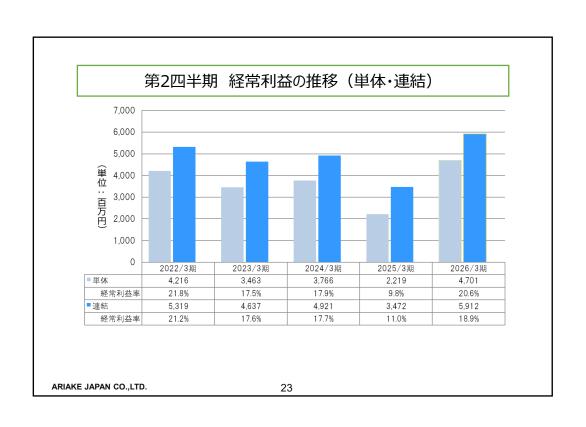
				売上高		営業利益		
			2026/3期	2025/3期	増減	2026/3期	2025/3期	増減
			計画 (A)	実績(B)	A-B	計画 (A)	実績(B)	A-B
アリア	゚゚ケジ゙゙゙゙゙	パン	490	475	15	84	78	6
子会	社計	† *	181	179	2	38	33	4
	アミ	ッ ア	106	103	3	27	25	2
	欧	州	73	73	0	11	8	3
	日	本	3	3	0	0	0	0
連絡	吉		671	654	17	122	111	11

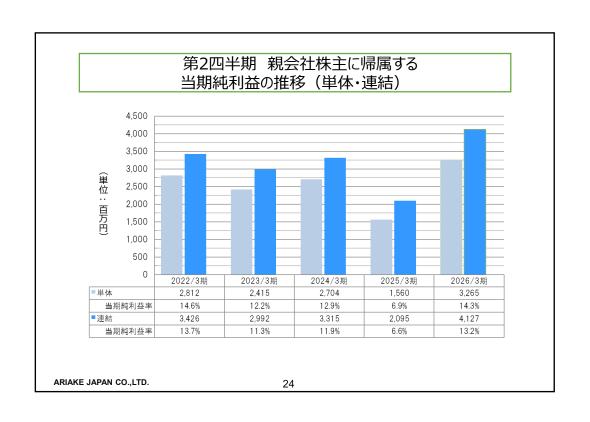
EUR 162.08 164.92 △ 2.84 人民元 20.59 21.67 △ 1.08 台湾ドル 4.51 4.84 △ 0.33 ルピア 0.009 0.010 △ 0.001

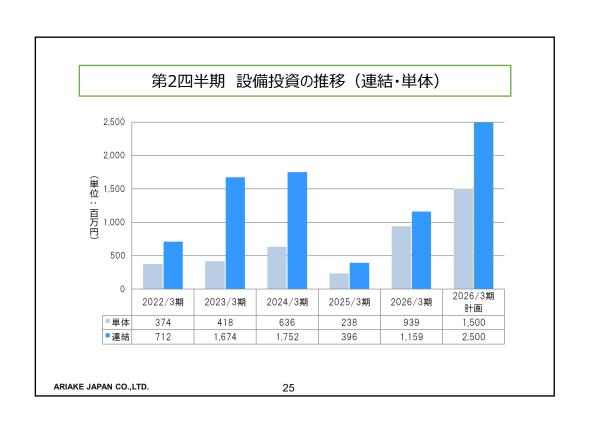
ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

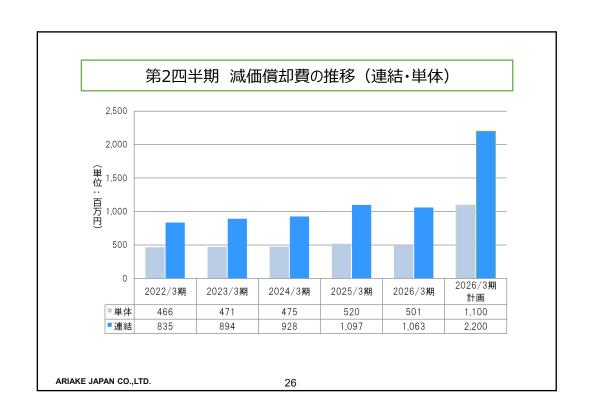














- 本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- ・ 本資料に記載されている業績予想 (計画) 及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能 な情報に基づき当社で判断したものです。これには為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、 競争環境、生産能力、将来における売上、収益性、設備投資、その他の財務指標の状況、法的、 政治的、または規制上の状況、疫病や健康問題の影響など、さまざまな不確定要素が内在しており、 実際の業績は異なる場合があります。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

(単位:百万円)

第48期(2025年4月1日から2025年9月30日まで) 第2四半期 決算のポイント(単体)

主要資産・負債等

総資産

1112 3 C / L							
	当第2四半期末①	前第2四半期末②	(1)-2)	2025年3月期③	(1-3)		
総資産合計	122, 747	115, 935	6, 812	120,626	2, 121		

流動資産

	当第2四半期末①	前第2四半期末②	(1)-2)	2025年3月期③	(1-3)
流動資産合計	48, 719	52, 820	-4, 101	56,541	-7, 822
現金及び預金	30, 211	34, 098	-3, 887	39,039	-8, 828
棚卸資産	8, 725	7, 840	885	7,687	1, 037
受取手形・売掛金	9. 152	9, 253	-101	9.209	-56

<u>有形固定資産</u>

HIVE A BE								
	当第2四半期末①	前第2四半期末②	(1)-2)	2025年3月期③	(1-3)			
有形固定資産合計	11, 452	11, 182	269	11,006	446			
償却資産	6, 907	7, 067	-161	6,770	137			
土地	4, 047	4, 047	0	4,047	0			
建設仮勘定	498	68	430	189	309			

投資等

<u>KRT</u>					
	当第2四半期末①	前第2四半期末②	(1)-2)	2025年3月期③	(1-3)
投資等合計	62, 542	51, 891	10, 651	53,040	9, 502
投資有価証券	42, 872	31, 675	11, 197	32,973	9, 899
関係会社株式	12, 095	12, 051	44	12,066	29
関係会社貸付金	3, 752	3, 710	41	3,626	126
子会社出資金	691	1, 147	-456	1,147	-456
長期預金	3, 000	3, 000	0	3,000	0

資本勘定 (株主資本)

	当第2四半期末①	前第2四半期末②	(1)-(2)	2025年3月期③	(1-3)
純資産合計	108, 976	102, 600	6, 377	107,606	1, 371
資本金	7, 095	7, 095	0	7,095	0
資本剰余金	7, 963	7, 958	5	7,958	5
利益剰余金	86, 022	82, 077	3, 945	86,261	-239
自己株式等	△ 2,044	△ 2,045	0	△ 2,045	1
評価·換算差額	9, 940	7, 515	2, 426	8,337	1, 603

単体合計

1, 238

744

841

753

196

設備投資・減価償却費

第43期 (2021年3月)

第44期 (2022年3月)

第45期(2023年3月)

第46期(2024年3月)	1,573	477
第47期(2025年3月)	601	167
第48期第2四半期(2025年9月)	939	153
人員		(単位:人)
	当第2四半期	前第2四半期
男	577	553

臨時(外数)アルバイトを含む

関係会社業績 〔連結調整前〕											
		売_	上高	営業利益		当期利益		設備投資		減価償却費	
		当第2四半期	前第2四半期	当第2四半期	前第2四半期	当第2四半期	前第2四半期	当第2四半期	前第2四半期	当第2四半期	前第2四半期
	(換算レート)	(@20. 19)	(@22. 04)								
青島有明食品有限公司	千元	146, 649	148, 320	29, 599	29, 465	22, 018	24, 102	887	3, 512	5, 139	4, 622
	百万円	2, 961	3, 269	598	649	445	531	18	77	104	102
	(換算レート)	(@4. 96)	(@4. 95)								
台湾有明食品股份有限公司	千元	368, 021	365, 948	99, 478	104, 032	81, 440	85, 876	3, 415	1, 370	17, 779	16, 898
	百万円	1, 825	1, 811	493	515	404	425	17	7	88	84
	(換算レート)	(@169. 66)	(@172. 33)								
F. P. Natural Ingredients SAS	チューロ	6, 800	5, 532	955	-148	996	-104	395	201	461	388
	百万円	1, 154	953	162	-26	169	-18	67	35	78	67
	(換算レート)	(@169. 66)	(@157. 60)								
ARIAKE EUROPE NV	チューロ	11, 558	8, 753	-148	-1, 612	1, 195	59	59	187	1, 487	1, 578
	百万円	1, 961	1, 508	-26	-278	203	10	10	32	252	272
	(換算レート)	(@169. 66)	(@157. 60)								
Henningsen Nederland BV	チューロ	12, 670	11, 829	3, 292	2, 937	2, 577	2, 340	587	14	46	113
	百万円	2, 150	2, 039	559	506	437	403	100	2	8	20
	(換算レート)	(@0. 0090)	(@0. 0099)								
PT. Ariake Europe Indonesia	百万ルピア	38, 400			1, 755	1, 668	1, 586			4	3
·	百万円	346	358	15	17	15	16	9	5	32	33

設備投資

パックセンター

66

44

94

18

64

体

463

549

701

995

414

722

第2工場

第1工場

755

117

96

707

230

損益計算書関係

<u>品種別売上高</u>

	当第2四半期	前第2四半期	増減	対前年比
売上高	22, 794	22, 734	60	100. 3%
液体スープ	1, 572	1, 532	40	102. 6%
液体調味料	18, 200	18, 325	△ 125	99. 3%
粉体調味料	1, 935	1, 922	13	100. 7%
その他	1, 088	956	131	113. 7%

販売費及び一般管理費

	当第2四半期	前第2四半期	増減			
販売費及び一般管理費	3, 255	3, 215	41			
(%)	14. 28%	14. 14%				
販売費	1, 921	1, 938	△ 17			
労務費	574	569	5			
固定費	541	485	57			
技術開発費	219	223	△ 4			

営業利益

	当第2四半期	前第2四半期	増減
営業利益	3, 543	3, 313	230
対売上高比(%)	15. 54%	14. 57%	

営業外損益

連結

1, 846

2, 118

3, 018

3,028

956

1, 159

その他

12

0

7

0

	当第2四半期	前第2四半期	増減
営業外損益	1, 158	△ 1,094	2, 252
営業外収益	1, 159	728	431
配当金	660	479	181
家賃収入	15	15	0
為替差益	188	0	188
受取利息	210	178	32
その他	87	56	31
営業外費用	1	1, 821	△ 1,820
為替差損	0	46	△ 46
デリバティブ評価損	△ 61	1, 771	△ 1,832
貸倒引当金繰入	60		60
その他	2	4	△ 2

連結

1, 505

1, 737

1, 784

1,950

2,144

1, 063

減価償却費

911

968

981

1,040

1,078

501

単体